

中野市男女共同参画審議会会議録

- I 日 時 平成22年7月16日（金） 午後4時10分～午後5時30分
- II 場 所 中野市人権センター 1号会議室
- III 出席者 （審議会委員） 川久保あけみ 清野秀昭 北山和夫 工藤二六子
神田一枝 小橋要 涌井純生
（市）柴草くらしと文化部長 佐藤男女共同参画推進室長 佐藤推進係長
欠席委員 小林喜世子 小野政世 城本早月 深尾恭子

室長 出席者7人でありますので条例第23条2項に定める定足数に達していることを報告します。

- 1 開 会 進行 室長
- 2 あいさつ くらしと文化部長
- 3 会議事項 議長一会長

（1） 女性の公職参画状況調査について

会長 事務局に説明を求めます。

- ・ 事務局説明 推進係

会長 この資料は、先に送っていただいてあったので目を通していただいていると思いますが、登用率調査について何か感じたこと、質問等ありましたらお願いします。

副会長 地方自治法202条の3で中野市防災会議というのがあります。34人中女性が0人、女性の視点が大事だと思うので女性も入ったほうが良いと思います。

係長 防災会議はあて職で条例の改正をしなくては女性の登用が難しいと聞いております。

委員 中野市美術品取得審査委員会、中野市交通安全推進協議会も女性がいなのですがどうしてか、わかったら教えてください。

係長 市民課で事務局を持っている中野市交通安全推進協議会は、1月の担当者課長会議以降、努力していただいたそうです。女性を登用しようと保育園の保護者会等と協議したそうです。が、すぐにといいわけにはいかないそうです。長い目で見ていただき、来年は1人か2人登用できるのではないかと聞いております。

委員 長い目で見ていただくということよりも、もっと踏み込んだ言葉が欲しい。

副会長 いずれにしても。35%の目標があるのだから。

部長 全く0が7つあるんですが、私の方からも厳しくやっているところでありまして、災害、防災に女性の視点が大事という事は阪神大震災のときに実証されているわけです。そのことから1人でも2人でも入っていただくようやっているところでもあります。

委員 35%という目標値があるので全体としてそんなふう意識を変えていかなくてはいけないと思います。

委員 女性の登用に努力されている、そういう会議に出させていただいてありがたいと思う。女性自身もそれなりの責任と向上心を持つことも必要と思います。

委員 登用率35%をめざすのは簡単なことではない。私も委員をやらせていただいています。

(2) 男女共同参画計画の形成に関する平成21年度事業実績及び平成22年度事業計画について

・事務局説明 推進係長

委員 24ページの投票所における男女共同参加の関係になると思うが、女性に立会人をお願いすると投票に行く人も多くなると思うのですが。

委員 選管から女性登用の依頼文はきています。誰をお願いするかという話になると難しいですね。

副会長 公民館の婦人部長さんと副部長さんに区でお願いしてやっている。何区かで一緒になって投票所をやっているところでは、たいへんだと思う。

委員 区長としても十分承知しているんですが、なかなか難しい。

会長 小学校の性教育について伺いたい。

委員 学校では、保健指導に合わせて担任が行っている。5・6年生を対象に実態に即しながら子どもたちの実態と合わせながらカリキュラムにそってやっている。また、保護者にも授業を見ていただいている。

委員 学校開放利用状況ですが、延徳小学校の利用人数多い。

副会長 ほとんどスポーツで使っている。南部総合型スポーツクラブ（中野スマイルスポーツクラブ）をつくって推奨している。いろいろな種目のスポーツを国の補助金をもらって熱心にやっている。ほとんど毎日のように体育館を使っている。

(3) 中野市男女共同参画社会づくり事業について

・事務局説明 推進係長

委員 出前講座を私の地域で開催した事がないということですので、講座を開催しなくてはと思います。前向きに考えたいと思います。

会長 ふれあいサロンでやっているところもあるので、そこへ組み込んでいただいても良

いかと思います。

(4) 女性相談窓口事業について

・事務局説明 推進係長

(意見なし)

会長 これからも関係機関と連携を取りながら、やっていって欲しい。

会長 それでは以上でよろしいでしょうか。副会長お願いします。

副会長 以上をもちまして、第1回男女共同参画審議会を閉じます。ご苦勞様でした。